



令和6年9月30日

第337号

〔発行〕(公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部
支部長 いすゞ自動車株式会社 藤沢工場
編集 藤沢支部広報部会
<http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/fujisawa/index.htm>

「全国労働衛生週間」を迎えて



藤沢労働基準監督署
署長 下川 眞徳

神奈川労務安全衛生協会藤沢支部の会員事業場の皆様には、日頃から私ども労働基準行政の推進につきまして格別なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和6年7月末現在の藤沢労働基準監督署管内の休業4日以上の労働災害発生状況は350件と前年比16件(4.8%)の増加となっておりますので、引き続き近年増加傾向にある転倒・腰痛・墜落等の労働者の作業行動に起因する労働災害への対策の推進をお願いします。

さて、本年も10月1日から全国労働衛生週間が行われます。

最近の労働者の健康をめぐる状況については、労働者の高齢化の進行等により、一般健康診断の有所見率が上昇を続けており、神奈川県内における令和5年の定期健康診断の有所見率は59.7%と前年より1.4%増加しています。

令和5年度の脳・心臓疾患による労災認定件数は全国で216件と前年より22件増加しており、精神障害による労災認定件数についても全国で883件と前年より173件と大幅に増加し過去最大の認定件数となっています。

また、昨年度、厚生労働省が策定した第14次労

働災害防止計画では、労働衛生に関する重点事項として「自発的に安全衛生対策に取り組むための意識啓発」、「高齢労働者の労働災害防止対策の推進」、「労働者の健康確保対策の推進」、「化学物質等による健康障害防止対策の推進」などが示されています。

このような背景を踏まえ、今年度の全国労働衛生週間は、

「推してます みんな笑顔の 健康職場」

をスローガンとして、9月1日から30日までを準備期間、10月1日から7日までを本週間として実施されます。

この間、各事業場におかれましては、過重労働による健康障害防止対策、職場におけるメンタルヘルス対策、職場における転倒・腰痛災害の予防対策、化学物質による健康障害防止対策等の労働衛生活動の総点検の実施をお願いします。

そして、全国労働衛生週間実施要綱に定める実施事項を展開することにより、皆様の事業場におかれましても、労働者が心身ともに健康で働ける職場づくりへの取組みを労使一丸となって推進していただきますよう、お願いいたします。

2024・2025年度(公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部スローガン

ゼロ災害 繋げるバトン 広げる輪
未来へ遺そう安全文化

<スローガン入選作品：いすゞ自動車(株) 藤沢工場 山崎 裕太氏>

第75回全国労働衛生週間湘南地区推進大会

9月12日(木) 於：藤沢市民会館小ホール

「第75回全国労働衛生週間湘南地区推進大会」が9月12日(木)藤沢市民会館小ホールにおいて、110社144名の参加者のもとで開催されました。

今年度のスローガンは、「推してます みんな笑顔の健康職場」です。

はじめに、(公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部 森支部長による開会挨拶があり、引き続き藤沢労働基準監督署 下川署長より、来賓挨拶をいただきました。

来賓の祝辞として、藤沢市鈴木市長よりご祝辞をいただいた後に、藤沢労働基準監督署 伊地知安全衛生課長より、『第75回全国労働衛生週間実施要項および湘南地区推進大会の趣旨について、講演をいただきました。

特別講演では、神奈川産業保健総合支援センター産業保健相談員の平澤様より、働く世代の健康課題である「健康寿命を延ばす食生活～働く人の動脈硬化予防～」について、講演をいただきました。

大会の締めくくりとして、建設業労働災害防止協会神奈川支部湘南分会 小玉会長より閉会挨拶をいただき終了いたしました。



(株)湘南ユニテック
桐原 芳雄

(公社) 神奈川労務安全衛生協会藤沢支部 安全勉強会

去る2024年6月24日月曜日、藤沢支部では「安全勉強会」を支部長会社であります、いすゞ自動車(株)藤沢工場において実施いたしました。この「安全勉強会」も今年で3回目を迎え、回を重ねるにつれて規模も大きくなってきました。今年は藤沢支部からは7事業場、9名。また本部から1名。労働基準監督署様からは藤沢署を筆頭に平塚、厚木、横浜西署様と総員12名の方々にご参加頂きました。改めましてこの活動へのご理解・ご協力を賜り深く感謝いたします。

今年の重点ポイントは①荷役作業、②動作の反動・無理な動作に起因する災害についての防止事例、③エイジフレンドリー対策事例、④化学物質リスクアセスメントの取り組み事例。と、近年災害数が増えて来ている災害形態や法改正についての対応をご視察いただきました。

当日は梅雨の合間の夏日となり大変蒸し暑い中となりましたが、一つ一つを指差し確認しながら現場で現認いただき、多くの方々から忌憚ないご

意見やご質問、意見交換や改善点などが議論され大変有意義な「安全勉強会」となりました。

藤沢労働基準監督署の下川署長からの総括では「転倒、腰痛災害が増えている中、滑りにくい床や階段の対策等素晴らしいと感じた。ぜひ社内で水平展開を促進してほしい。作業台の昇降装置等も製造業につきものである腰痛災害を防止出来る為、今後も積極的に実施していただきたい」とお言葉を頂戴し恙無く終える事が出来ました。

最後に今回の「安全勉強会」の開催に付きまして、ご準備いただきました関係各位の皆様へ深く感謝すると同時に、藤沢支部では労働災害防止を念頭にこれからもこの活動を継続して参ります。

いすゞ自動車(株) 藤沢工場
森 淳美

活動の詳細はこちら



全国労働衛生週間の取り組みには、以下をご活用ください。

産業保健活動総合支援

産業保健総合支援センターは、産業保健活動を支援するため、企業への訪問指導や相談対応、研修などを実施しています。

地域産業保健センター（地産保）では、小規模事業場を対象に、医師による健康相談などを実施しています。

また、事業主団体等を通じて、中小企業等の産業保健活動の支援を行う「団体経由産業保健活動推進助成金」による支援も実施しています。

■産業保健総合支援センター（さんぽセンター）

<https://www.johas.go.jp/shisetsu/tabid/578/Default.aspx>



■団体経由産業保健活動推進助成金

<https://www.johas.go.jp/sangyouhoken/tabid/1251/Default.aspx>



メンタルヘルス対策

職場でのメンタルヘルス対策に関する法令・通知・マニュアル、「ストレスチェック実施プログラム（無料）」を掲載しています。

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzenisei12/>



メール・電話・SNS相談窓口を設置し、メンタルヘルス対策の取組事例などを紹介しています。

■働く人のメンタルヘルスポータルサイト「こころの耳」

<https://kokoro.mhlw.go.jp/>



治療と仕事の両立支援

治療と仕事の両立支援のガイドラインや企業の取組事例、シンポジウムなどの総合的な情報を紹介しています。

■治療と仕事の両立支援ナビ

<https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp>



化学物質管理

職場の化学物質管理の道しるべ「ケミガイド」では、化学物質管理に関する無料相談窓口のご案内などを掲載しています。

■職場の化学物質管理の道しるべ「ケミガイド」

<https://chemiguide.mhlw.go.jp/>



転倒・腰痛予防対策

転倒・腰痛予防対策の参考資料を紹介しています。

■「いきいき健康体操」（監修：松平浩）

<https://www.mhlw.go.jp/content/000895038.mp4>



■腰痛を防ぐ職場の好事例集

<https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001087637.pdf>



SAFEコンソーシアム

「従業員の幸せのためのSAFEコンソーシアム」※に加盟し安全衛生の取り組みを社内外にPRしましょう！



※増加傾向にある転倒・腰痛などの労働災害について、顧客や消費者も含めたステークホルダー全員で解決を図る活動体です。趣旨に賛同した企業、団体がコンソーシアムを構成し、労働災害問題の協議や、加盟者間の取り組みの共有、マッチング、労働安全衛生に取り組む加盟メンバーの認知度向上などをサポートします。

■SAFEコンソーシアムポータルサイトはこちら（サイト内から加盟申請もできます）

<https://safeconsortium.mhlw.go.jp/>



高齢労働者の健康づくり

高齢者が安心して安全に働ける職場環境の実現に向けた取り組みを進めましょう。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/anzen/newpage_00007.html



働き方改革

時間外労働の削減や年次有給休暇取得促進など働き方改革の推進に役立つ情報を紹介しています。

■働き方の現状が把握できる「自己診断」等（働き方・休み方改善ポータルサイト）

<https://work-holiday.mhlw.go.jp/>



■各種助成金や無料相談窓口の紹介等（働き方改革特設サイト）

<https://hatarakikatakaikaku.mhlw.go.jp/top>



労働安全衛生調査

事業所が行っている安全衛生管理や、そこで働く労働者の不安やストレスなど心身の健康状態についての調査結果を公表しています。安全衛生管理の参考資料として活用するとともに、調査対象となった際のご協力をお願いします。

https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/list46-50_an-ji.html



その他

■職場における熱中症予防情報

<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>



■職場における受動喫煙防止対策

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/anzen/kitsuen/index.html



■労働基準監督署等への届出は電子申請が便利です！

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/denshishinsei.html



安・健・快 雑感

過ごしやすい季節となってきました。運動の秋、「毎日たった3分でこの効き目」「毎日20回をたった3セットで効果てきめん！」よくこのような動画を見ます。ところがたった3分なのに、たった20回×3なのに私は全く続かないのです。気が付きました。いきなり3分、いきなり3セットは日頃運動していない人にとってはきついのです。やってみて辛かったら一日で終わりです。そこで私は決めました。毎日スクワットを1回やろう。たったの1回です。大事なのは「毎日やる」こと。回数や時間は関係ないと。毎日1回。所要時間3秒。

これでは効き目もやる意味もないと思いますよね？ところが私には違ったのです。始めてみたら1回ではやった気がしないから2回でもいいかな。5回位やっても疲れな。回数は少なくとも毎日続けていたら徐々に力がついてきたのか、増やしていてもなかなか疲れません。見事にはまりました。ならばスクワット1回と腕立て1回と腹筋を1回ずつやってみよう。ダメです。欲張ってはいけません。欲張ったらもうやりたくなくなりました。ちょっとをルーティーンに。あなたもやり始めたらずめられなくなるかも。

アズビル(株) 藤沢テクノセンター
田嶋 直樹

〔当面の行事予定〕

第2回	安全管理者選任時研修	10月7日(月)	会場:藤沢市建設会館4階大会議室
第1回	化学物質管理者選任のための研修	10月9日(水)	会場:藤沢市建設会館4階大会議室
第1回	アーク溶接等特別教育〔3日間〕	10月16日(水)~10月18日(金)	会場:(株)神戸製鋼所 藤沢事業所
第6回	職長教育	10月29日(火)~10月30日(水)	会場:藤沢市建設会館4階大会議室
第3回	粉じん作業特別教育	11月19日(火)	会場:藤沢市建設会館4階大会議室
第7回	職長教育	11月25日(月)~11月26日(火)	会場:藤沢市建設会館4階大会議室
第2回	衛生推進者養成講習	12月3日(火)	会場:藤沢市建設会館4階大会議室
第2回	安全衛生推進者養成講習	12月3日(火)~12月4日(水)	会場:藤沢市建設会館4階大会議室
第4回	フルハシ型墜落制止用器具特別教育	12月10日(火)	会場:藤沢市建設会館4階大会議室
第2回	KYT(危険予知訓練)研修	12月24日(火)	会場:藤沢市建設会館4階大会議室

〔編集後記〕

常日頃から、ゼロ災を目指して安全教育という事に尽力されてる事と思います。弊社でも様々な取り組みを行って参りました。過去には挟まれ・巻き込まれ等の工場内で起こる災害を想定して実際の従業員に出演して貰い、災害事例映像を作成して新人教育等に使ってましたが、通常の映像の為に、実際に恐怖を感じる事も少なく、こちら側が伝えたいことが半減していたように感じていました。今年に入りVRを使用した映像の製作を始めました。実際の工程で実作業での撮影を、行いました。撮影後にセリフや映像の編集などを、制作会社と一緒に意見を出し合いながら、完成させました。完成後の映像は画面で見るとは違い、

作業者目線での映像となるので、災害発生の瞬間は、若年者だけでなく熟年者からも、恐怖を感じる映像となっていると評価をいただいております。なぜ保護具を装着するのか、なぜ作業手順があるのか等の教育には、かなり効果があると感じております。

宣伝ではありませんが、映像作成をしていただいた「株式会社アルファコード」のQRコードを貼らせていただきますので、興味のある方は是非！



新明和工業(株)
高松 信英